



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒 662-0977 西宮市神楽町
5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ

2021年12月会報

第396

主題・標語

国際会長(IP)

Kim Sanche (Korea)

主題 世界とともにワイズメン Y's Men with the World

スローガン 愛と尊厳で世界を癒やそう Heal the World with Love & Dignity

アジア太平洋地域会長(AP) 大野 勉(神戸ポート)

主題 100年を超えて変革しよう Make a difference beyond the 100th

スローガン 健康第一! Be healthy!

西日本区理事(RD) 新山兼司(京都トップス)

主題 未来への挑戦 Challenges for the future

スローガン 羽ばたこう! 2022年ワイズ 100周年に向かって

六甲部長 大野智恵(神戸ポート)

主題 寄り添い、分かち合い~『三方よしで、みんな笑顔』

Snuggle up and share with you~"Smile on each side"

宝塚クラブ会長 福田宏子

主題 健やかに、多くを愛でて、朗らかに Live well, Love much ,Laugh often!

今月のテーマ : キリスト教理解・ワイズ 100周年

「お互いに愛し合い、奉仕しましょう。」ワイズの活動は、愛を持って、奉仕活動をする事です。奉仕される人を思いやり、寄り添い活動しましょう。

クリスチャニティー委員長 河口恵 (名古屋)

2022年はワイズメンズクラブ国際協会の創立 100年です。先人に思いをはせるとともに新たな歴史を築いていきましょう。

歴史アン 濱田 勉 (奈良)

日時 : 2021年12月11日(土)11:30

場所 : 宝塚ホテル

会費 : 9,000円

第一部 クリスマス礼拝 司会 若林成幸

前奏

開会点鐘 福田宏子会長(宝塚)

ワイズソング 一同

讃美歌 261番「もろびとこぞりて」

聖書 マタイによる福音書1章18-25節

メッセージ 「イエスの誕生から問われること」

宝塚教会 浦上結慈牧師

賛美歌 271番「喜びはむねに」

献金

後奏

第二部 会食 司会 石田由美子

第三部 ピアノ演奏 大久保有記氏

YMCA報告

誕生日のお祝い 会長

アピール

閉会点鐘 岩田 晋 副会長(大阪土佐堀)

2021~2022

役員

会長 福田宏子
副会長 小林康男
書記 武田寿子
会計 小林康男 郡家 学
会計監査 加藤光信 吉田 明
担当主事 橋本 唯
メネット連絡 小林貴美子
六甲部Y'サ 若林 成幸

今田和子(24)

12月
誕生日

11

月

実

績

例会出席者数 35名(ズーム4名)
在籍会員数 20名
出席会員数 16(ズーム1名)
出席率 80.0 %
メイクアップ(内数) 0名
メネット・コメット・孫メット 2名(1ズーム名)
ゲスト・ビジター 13名(ズーム1名)
例会充足率 175 %
アソシエイト会員 6名(ズーム3名)

ここにこBOX 5,300円
累計 22,300円
ファンド(豚肉) 5,000円
(真菰茶) 11,250円
累計 44,420円

聖 句

「マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。

宿屋には彼らの泊る場所がなかったからである」

ルカ福音書 2章6-7節

随 想

この箇所が目が止まるたびに、私はマザー・テレサの言葉を思い出してしまいます。「もし貧しい人々が飢え死にするとしたら、それは神がその人々を愛していないからではなく、あなたが、そして私とが与えなかったからです。

神の愛の手の道具となって、パンと服をその人々に差し出さなかったからです。愛の反対は憎悪ではなくて、無関心です」。

イエスが寝かせられた飼い葉桶は、人の心を指しているような気がしてなりません。彼らが泊まろうとした宿屋は先客で満ちていたため、家畜小屋に押しやられたあげく、石で作られた冷たい飼い葉桶に寝かせるしかなかったのです。

「あかちゃんがああ主イエスだったら、私はそんなことしなかった」。そうでしょうか。トルストイの「靴屋のマルチン」はそんな私たちの心を問う物語です。私たちは自分のことで精いっぱいです…。そうです。確かに、私たちは自分のことで精いっぱいです。人は皆「自分ファースト」です。

旅人や宿屋の主人の心が冷酷で冷たく、愛のかけら一つもない人たちであったわけではないでしょう。愛はあったでしょう。人への愛があり、いたわりがあったにもかかわらず、「もう、自分はこれで精いっぱいだ」と押し通す時、結果的に愛がないのと同じ結果がそこに現れるということ、この物語は語っているように思います。

「私も精いっぱいです…」の弁解の中、イエスは家畜小屋に押し込められてしまうのです。ですから、私はイエスの誕生の記事は私たちの心の状態を映し出す鏡であると思って読んでいます。「自分のことで精いっぱいです…」と答えようとする時、「いや、待てよ」と思いとどまり、「本当に精いっぱいなのか、自分にできることはないのか」と振り返ることが大切なのだと自分に言い聞かせながら、クリスマスの記事を読んでいます。

コロナ禍で大変なクリスマスを迎えるのが2回目になり、悲しい中にある人たちにクリスマス、神と共にいてくださることに慰めが届きますようにと切に願います。

浦上 結慈

11月例会報告

11月10日(水)18時半からメン15名(内ZOOM1名)メネット2名、アソシエイト6名(ZOOM3名)、ゲスト・ビジター13名(ZOOM1名)が集まり、福田宏子会長の点鐘で開会された。ワイズソングの後、聖書朗読、祈祷、会長よりゲスト・ビジターの紹介がありました。その後、久しぶりの会食(お弁当)



を皆で楽しむことが出来ました。神戸YMCA総主事の井上真二氏より神戸YMCAの近況が語られ思っていたより厳しい状況であることを痛感しました。今日のゲストスピーカーは弁護士の三村雅一氏でお話は「SDGsと法務」についてです。まず初めに弁護士を志した理由を述べられ業務内容では株式会社ポラリスとの出会いを通じてソーシャルベンチャー支援の大切



さを感じられたようです。また、子ども関係では「子供のための第三者委員会」の委員となるきっかけも語られ、弁護士としての業務の多さにも驚きました。

SDGsが共通言語化してきた現在、企業がSDGsを本業に取り込み、環境・社会的課題の解決に資する製品やサービスを提供出来れば、新たなビジネスチャンスに繋げることが出来る。他方でSDGsは世界共通の達成目標として企業にとってのコンプライアンスの内容の一つとなっており、企業がSDGsに逆行する行動をとった場合、顧客からの取引停止や投資・融資の引き上げを受けるリスク、企業価値毀損のリスクに繋がることを紹介されました。企業経営におけるSDGsのプライオリティは更に上がり、すべての企業にとってSDGsは重要な経営課題として迅速な対応が求められているようです。特に、企業が「人権尊重」をどのように取り組めばいいかということが問題になっているようです。

続いてYMCAチャリティランの報告があり、お誕生日を祝って11月例会は終了しました。

鯖尻佳子

「SDGsに思う」

「SDGs」と言う言葉は今や老若男女問わず、珍しい言葉ではないでしょうか。ここ数年の間に、「SDGs」と言う言葉は至る所で、目にかかることができ、耳にされ、馴染みの言葉になったのは事実である。廃棄物の処理、分別もやっとなり、当然のこととして認識されるようになった。10年以上前、海外の国々、例えば、フランス、アメリカ、デンマーク等を訪れる機会があった。それらの国々では、既に大きな“My Bag”を持って買い物に出かけ、プレゼント用の包装サービスもなく、日本の丁寧な過剰程の包装が一種、懐かしくも思えた。



11月の例会:三村雅一氏の「SDGsと法務」と題しての講演では、個々の人、夫々が「SDGs」に対する認識、実行を今まで以上に遂行すべきであると同時に、企業に対しても、その使命を果たし守るという強い義務があるというのを、我々が理解できるようにかみ砕き、身近な例を掲げて説明を受けることができたのは、感謝である。

過去における、強国の植民地時代:人間を人間として尊重せずに人間扱いしなかった国々には、いまや苦境に責められている事実は否定できない。人のみならず、物に対する尊重の念を持つ心を育てる教育の重要性が示唆される。

現在、我々を取り巻く様々な環境の中で、我々Y's Menは、一体どんな活動ができるかを、早急に思い知らされた講演であった。

会 長 福田宏子

11月第2例会報告

11月第2例会は、11月17日(水)1:00~3:00p.m.、西公民館で行われ、福田会長、若林、小林、多胡、武田、石田、郡家、今田、長尾、福家、橋本担当主事 11名が出席した。議事要旨は次の通り。

1)例会の運営

①12月11日(土):大阪土佐堀クラブ&宝塚クラブとの合同クリスマス例会

場 所:宝塚ホテル

時間:11:00a.m.~2:00p.m.

会費:¥9,000(¥8,500のパーティメニュー、ドリンク付き)

プログラム:

11:00 受付、11:30.開会・クリスマス礼拝~メッセージ宝塚教会:浦上結慈牧師

12:00 食事、13:15 ピアノ演奏(大久保有記氏)

・お誕生祝い・各クラブ行事報告など・閉会点鐘は

土佐堀クラブ 丹吾礼会長。

*ファンド:シュトーレン(¥3,000),クッキー(¥500/50袋・世話役神戸クラブ:川崎)を販売

②西公民館は11月から6ヶ月間、長期大修理工事のため休館となるため、1月~5月の例会は日本キリスト教団 宝塚教会に変更して行うことを確認。第2例会会場は別途。(後日、門戸荘ララホールと決定)

1月例会:2022年1月12日(水)6:30~8:30p.m. 講師:浦上結慈牧師、演題未定。

2月例会:2月9日(水)マリー秋沢氏(管理栄養士、健康料理研究家)、著書「グルメを諦めず糖尿病を改善」など、多数の糖質オフ料理本を手がける。

3月例会:3月9日(水)田村博美氏(あとろえ宝塚・むこがわ学校を主宰、宝塚市創造会議会長)都市デザイナーの視点から捉えた宝塚風景の水彩画を制作。

○1~3月例会のチラシを作成する。

2) 各事業報告

- ① 11/14(日) TIFA の呼びかけを受け「たからの市」に試験的に出店、真菰茶を販売した。福田会長、福家、鯖尻、武田、石田、若林、多胡、小林夫妻、矢部が参加。ワイズリーフレットを作成し 50 部配布、売上 9,000 円を計上。これから年 2 回(5 月、11 月)の出店を計画する。
- ② 11/18(木) チャリティーラン 2021 にちなみ宝塚クラブの自主企画プログラム「西谷散策」を行なう。参加者は福田会長、今田、若林、小林夫妻、鯖尻、多胡、風早、矢部、石原、その他 3 名 計 13 名
- ③ 1/23(火)チャリティー・ラン(しあわせの村:ワイズ 100 周年記念植樹)
参加予定者:福田会長、若林、多胡、武田、鯖尻、
- ④ ジャガイモ事業の収支報告。ジャガイモ 230 箱・3 種ミックス 150 箱 計 380 箱を完売。
売上 979,700 円、仕入れ 730,780 円、収支差額 248,920 円(但し未収 21,900 含む)
- ⑤ 六甲部合同新年会 1 月 22 日(土)16 時、須磨温泉臨水亭

3) ブリテン(長尾)

クリスマス例会の詳細の確認と寄稿分担を決めた。

4)YMCA 報告 橋本主事からチャリティーラン 2021 の報告があった。

5)その他

:Asia Pacific-Area Wisemenett 坂本千春主任から要請書、メネット事業(へあ・ドネーション)に関する対応を話し合ったが、西日本区の対応を見極めるため静観することにした。

書記代行 若林成幸

ゲストプロフィール

大久保 有記(おおくぼ ゆうき)



1981 年 10 月 30 日、神戸市生まれ。幼少期を横浜で過ごし、小学校から神戸に戻り、関西学院中学部へ進学。関西学院高等部を経て 2000 年、関西学院大学法学部政治学科へ進学。

2001 年、米国フロリダ州 Rollins College に編入学し 2004 年に卒業。日本へ戻り関学大を 2006 年に卒業後、三菱重工業(株)にて人事・海外営業を経験し 2014 年、住友ゴム工業(株)に転じる。人事として 2015 年から米国ニューヨーク州バッファローでタイヤ工場の経営に携わり、2019 年に帰国。バッファロー駐在中に Buffalo Philharmonic Chorus のバリトンとして、数多くのオラトリオに参加。2021 年 3 月、2019 年 4 月に

レコーディングした『The Passion of Yeshua』で第 63 回グラミー賞受賞(最優秀合唱パフォーマンス賞)。現在も、幼少期に始めたピアノを趣味として続けている。

チャリティラン・記念植樹式報告

コロナ禍、従来の趣向をガラッと変えた**チャリティーラン 2021** が 11 月 23 日 10 時～15 時に神戸市北区のしあわせの村で開催されました。(YMCA 報告参照)それに時を合わせて、ワイズメンズクラブ国際協会創設



100 周年を記念する六甲部の植樹式が 11 時から行われ、各クラブから約 40 名、宝塚から福田会長・多胡・鯖尻・若林が参加しました。植樹式は、水野ワイズの司会で、六甲部部長・大野智恵ワイズの挨拶と経過報告、各クラブ会長の一言メッセージの後、部長・各会長・実行委員の順で、前もって植え込まれた高さ 3m 程の桜の若木の根元に真っさらのスコップで一掬いずつの土をかけ健やかな成長を祈りました。最後に若林(六甲部次期部長)と山根 CS 環境主査が挨拶し、記念写真を撮って式典を終えました。

若林の挨拶:「多くのワイズが参加の下、**ワイズメンズクラブ国際協会創設 100 周年記念の植樹式**、おめ



でとうございます。この記念プロジェクトは、チャリティランが行われるしあわせの村に記念樹の 1 本目を、来年 3 月頃には多くの市民がお花見で賑わう生田川河畔に 2 本目を、再来年、神戸市東遊園地の再開発事業が完成したときに 3 本目をと、神戸 YMCA と六甲部が活動する場所に近いところを選んで植樹をすることになっています。桜の若木がそれぞれの地に根を張って花をさかせ多くの人が集う様子を想うと、その 3 点を結ぶ三角形の中心に YMCA があり、その働き「みつかる・つながる・よくなっていく」が着実に広がっていく姿が象徴されているように思います。六甲部の皆さんとも春の桜、秋の紅葉を愛でる会が企画され新しい会話・交流の場となることを期待したいと思います。

若林成幸

Y' s Men' s Club 創立 100 周年記念植樹

恒例 11 月 3 日に開催されていた「チャリティ・ラン」も今年はその形態を変え、11 月 23 日創立 100 周年を記念して、六甲部 8 クラブによって、記念植樹が「しあわせの村」で挙行された。

およそ 3m ほどの高さのある立派な染井吉野の桜の木が、8 クラブのメンバーによって植えられた。来春には、美しい花をきっと咲かせてくれることを願いつつ、運動場で遊びまわる子供たちを見守っているようにも思われた。これからの桜の成長が楽しみである。



福田宏子

市民クリスマス開催にあたって

コロナの収束傾向が進み、宝塚ベガホールにおいて第17回市民クリスマスを開催することになりました。宝塚クラブのメインイベントであり、回を重ねる毎に地域の名物行事に数えられる活動でもあります。新型コロナの第6波やインフルエンザ流行が懸念される中で、プログラムの圧縮・入場者数の制限・オール指定席・基本的安全対策の励行など安全重視のコンサートとなります。出演するポップンリンガーズ・関学大学生フラチーム“マハロ”・弦楽アンサンブル“ダカーポ”・合唱団の皆さんはそれぞれに制約された環境ながら、失われた過去を取り戻すように練習に集い、本番に向けて情熱を燃やしています。



また、このコンサートはボランティアとお客様が一体となってつくる One Christmas なので、ワイズ・アソシエイトの皆さんにも、受付・会場案内などの役割を分担していただきます。ご無理な方は聞き役に回り客席から声援いただくのも良いので、ご協力をよろしくお願いします。皆さんにはワイズ指定席券を準備していますので担当の用が済み次第、舞台のパフォーマンスをお楽しみ下さい。心にしみるクリスマスをお届けできると思います。

若林成幸

秋の西谷散策

11月18日、二度目の西谷散策の機会が与えられた。前回、4月末は、新緑がまばゆく、蝶々が飛び交い、アオガエルが小川や田んぼの中を泳ぎまわり、野草が青々と勢いよく生えていた。



マーケットでは「筍」が販売され、「今から大きくなるよ～～！美味しくなるよ～～！」と叫んでいた。今回の「丸山湿原」散策も新たな試みであった。

森林の散策中は、快い風が頬を撫で、足並みを軽やかに進めっていると、木々の間を赤トンボが飛び交い、黄金色に紅葉した樹木にかこまれ、白い雲の浮かぶ青空を背景に、眼前に広々とした湿原を目前にした光景の印象も忘れ難いものになった。

眼前に広がる「湿原」も名の通り、水面一面にはイヌノハナヒゲ群衆やヌマガヤ群落等の 30cm ほどの高さの植物がそよ風に揺れ、厳しい寒さに耐えようとする姿が伺われた。来年の初春はどんな草花が開花するのだろうか？と、また沈黙の春にならぬことを祈りつつ、夢を膨らませた。

福田宏子

西谷散策 真菰の田んぼ



春に真菰植えに福田宏子ワイズと参加して次は真菰刈りと楽しみをしていた。コロナ禍でなかなか行けなかったが、18日にワイズの遠足で西谷散策。コースの最後に真菰田んぼに行った。

この真菰田んぼはアソシエイト会員の矢部さんが西谷の地で田んぼを借りて植えておられる真菰田。広い西谷地域といえども真菰田はこの田んぼのみとのこと。既に刈り取りの時期は終わっていたが、我々のために幾らかを残しておいてくださったか。それぞれが、釜を持ち慣れない手つきとはいえ真菰を刈り取る。刈り取った真菰をその場で試食。甘

さが口一杯広がる。真菰を生で食するのは我々にとっては初体験。口いっぱい甘さが広がり、思わず「ワー！美味しい！甘い！」と。自然の中でのなんとも言えない喜びが湧き全員の笑顔が広がる。

刈り取った真菰だけを持ち寄り葉と茎で次は真菰リースとお正月のしめ縄づくり。二人1組でより、あっという間に簡単リースとしめ縄の完成にこれもまた全員驚きと喜びの声。宝塚クラブのファンドとなっている真菰茶のみならず、食材、そしてリースやしめ縄などの飾りまで、残すところなく活用でき根は来年の植え込みへと。捨てる場所はない。日本古来に食としてまた神事などで大切に使われていた真菰は交流の輪も広がる出会いとなっている。毎年春と夏には真菰の田で自然とのふれあいを感じ交流の輪を広げるのはいかがでしょうか。



多胡葉子

たからの市に出店

手塚治虫記念館の横に、昨年オープンした瀟洒な 宝塚市立文化芸術センター 庭園棟を前にして、毎月第



二日曜日の10時30分から3時まで、たからの市 が開催されています。およそ 25 点余りの出店者たちによる、お手製の袋物や民芸品、なべなべ工房、西谷の新鮮な野菜、焼き菓子、秋の果物、柿や焼き栗、モクモクの種、フレッシュパン、フレッシュコーヒーなど色とりどりの品物があふれんばかりに並んでいます。

宝塚国際交流協会(TIFA)からの呼びかけを受けて私たちのコーナーでは、真菰茶を中心に、爽やかな香りがして肌に優しいまこもクリーム、会員さんに評判のまこも塩、まこもパウダー、まこも茸、そして変わったところでカリンの実などを、矢部さんの指導のもと美しくチャームングに飾ってお客さんを待ちます。

まさに小春日和の一日、総額1万9千円、収益は9千円、ワイズリーフレットも50部配布してワイズのPRもちゃんとした上に、ワイズの大きな旗がよく目立っていました。これからは5月、11月、年に2度ぐらい参加して、クッキーとか品数を増やして参加しましょうという計画も持ち上がっています。

参加者は、福田会長、武田、石田、多胡、若林、小林夫妻、矢部、鯖尻、福家です。

福家清美

「初めてのキャンプ」

マゴメット 福家万里彩(ふけまりな)

私がキャンプに行くきっかけになったのは、おばあちゃんからすすめられたからです。最初知らない人とキャンプに行くのはきんちょうするなーと思っていましたが、私にとって初めての海であり、キャンプでもあるので、少しワクワクしている気持ちもありました。そして、いざ当日になると、待ち合わせの場所に私と同じ名前の【マリナ】という先生がいて、ちょっと嬉しかったです。

余島に着くといかにも無人島らしいところで、海もあり、虫もたくさんいて、無人島など行ったことないのでビックリしました。そこで一番印象に残っているのは、海で遊んだことです。初めての海なのでその時はすごくうれしかったです！ それに海の音もすごくきれいでした！ 私は来年中学生になりますが、またキャンプに行きたいです。

有り難うございました。



ZOOM 例会参加

鹿児島クラブ 11 月例会参加報告

2021 年 11 月 23 日(火)、15 時から「風呂敷の包み方」と題する楽しいテーマの例会にオンライン参加させて頂きました。講師は着物着付け教室「綺繪堂」主宰・岩下淳子先生。

きっかけは去年 1 月の鹿児島クラブ 30 周年記念例会で記念品として用意された特別詠えのオリジナル風呂敷を大いに活用して欲しいとの中堀清哲会長の思いです。



岩下先生は着物のプロでありながらオシャレなスーツ姿で歯切れ良く聞きやすいテンポで基本的な包み方を披露されました。

軽くてたためばバッグに入る、殆どの物を包める、洗濯が出来る、ごみにならない、等

究極のエコバッグです。運ぶだけでなく、気の利いたラッピングをすればそのまま贈物になると言う優れたもの、風呂敷を改めて見直しました。

鹿児島クラブは今後も SDG's を学んで行くとの事で、去年同じテーマをシリーズにして例会を持った宝塚クラブも更に刺激を受けました。

石田由美子



YMCA ニュース

【第 23 回神戸YMCA国際チャリティーラン 2021 の報告】

前日には 1 日中雨が降りましたが、当日 11/23(火)は秋晴れの下、無事にチャリティーラン 2021 を終えることができました。形を変え、新しい試みとなりましたが、参加者・スタッフ・リーダー・ワイズなど、全体で約 150 名の方が会場に足を運んでくださいました。それぞれ走ったり、歩いたり、仮装したりなど、久しぶりのイベントを楽しんでくださったように思います。ご参加いただいた皆様、またこの日をお覚えていただいた皆様、ありがとうございました。支援金につきましては、また別途報告させていただきます。



編集紀行コーナー



今年で第 17 回チャリティー市民クリスマスのアピールの為に次期六甲部部長を拝命している我がクラブの若林成幸ワイズの次期役員研修会の懇親会に多胡葉子ワイズが参加しました。そして、ワイズリーダーシップ開発委員会委員長の鵜丹谷剛ワイズの協力を得て力強いご支援をいただきました。

ブリテン担当 長尾 亘